

全国大学生マーケティングコンテスト本選会出場報告

第9期生 川崎 実希子・水田 弥英・朴 甫涇
第9期生(特別聴講生) 清水 鈴

◆全国大学生マーケティングコンテストとは...?

全国大学生マーケティングコンテストは、神戸市外国語大学が主催して今年度から開催されたビジネスコンテストです。コンテストの特徴は何といても、プレゼンテーションを英語で行うことです。第1回となる本年度は、ソーシャルメディアをプランに組み込むことという条件付きで、「B-Three パンツ（株式会社バリュープランニングが販売するストレッチパンツ）の顧客を若者世代に拡張する為の戦略」のプランニングという具体的な課題が与えられました。このコンテストに対し、小野ゼミからは、有志で集まった第9期の川崎・水田・朴・清水の4人がチームを結成して、入賞目指して参加しました。



プレゼン直前！（左から清水，川崎，朴，水田）

◆発表の概要

B-Three パンツの新しいターゲットを「ママ」とするプランを提出し、無事予選を通過した小野ゼミチーム。全24チームから選ばれた8チームのうちの1チームとして、本選へと駒を進めることとなりました。12月17日に神戸市外国語大学で行われる本選に向け、本ゼミやサブゼミの時間を頂いてプレゼンの練習を行いました。前日の早朝に夜行バスで現地入りした小野ゼミチームは、「まずは観光でしょう！」と京都観光を敢行しました。清水寺や知恩院、八坂神社を巡りました。清水寺のおみくじで運試しをしたところ、4人中2人が凶を引きあて…幸先の悪さを感じながら、翌日の発表準備をすべく清水のおばあちゃんの家へ。朝4時までプレゼン練習を行った小野ゼミチームは寝惚け眼で会場へ向かいました。会場へ着くと、そこには応援の為にわざわざ来て下さった第8期ゼミ長の荻野さんが！ 荻野さんが見守る中、コンテストが始まりました。惜しくも入賞は逃しましたが、東京大学や大阪大学といった名だたる大学のチームと戦い、英語で発表した経験は、小野ゼミチームにとって非常に有意義なものとなりました。マーケティング

コンテストは来年度も開催予定とのことですので、小野ゼミの恒例行事として引き継いでいてもらいたいと思っています。



神戸外大での本選会にてプレゼンを行う小野ゼミ生（左から朴，水田，川崎，清水）

◆発表後記（第9期生 川崎 実希子）

今年初めて開催されたマーケティングコンテスト（通称マケコン）に、有志を募って出場してきました。今回のテーマは、SNS を駆使したストレッチパンツ販売戦略のプラン構築であり、プレゼンは英語で行うという、大変エキサイティングなコンテストでした。不慣れた英語に四苦八苦しつつも、ネイティブの鈴ちゃんに発音のレッスンを受けて、懸命に練習していました。もちろん、小野ゼミグループワークには恒例である徹夜も何度か経験しましたが、やはり、小野ゼミ女子のパワーは、そんなにか弱くありません。どんなに寝不足でも、大好きなスイーツに囲まれば、すぐに元気 100 倍になり、恋バナに話を咲かせたり、関西旅行の計画を全力で立てたりしていました。こんなに和気藹々とグループワークを行うことができたのは、このメンバーだったからこそだと思います。たくさんの思い出を残すことができました。

◆発表後記（第9期生 水田 弥英）

「本ゼミよりは緊張しなかったなあ」発表を終え拍手に包まれる中、ぼんやりとそんなことを思った覚えがあります。結果的には、惜しくも入賞を逃してしまいましたが、本ゼミでのプレゼン練習のいかにもあ



英語が公用語の懇親会にて、主催者のアーカー先生と。

り、自己ベストな発表を行うことが出来ました。清水の流暢な英語から始まり、川崎の落ち着いた英語、そしてステージ中央に出た朴の熱弁…この発表の中で私がどれだけの貢献ができたかはわかりませんが、神戸市外国語大学のステージで、3人の仲間と共に行った発表は一生の思い出です。共に戦った3人に感謝すると同時に、私たちを支えて下さった全ての方々へ心より感謝申し上げたいと思います。

◆発表後記（第9期生 朴 甫涇）

今回の神戸遠征は、東京や九州が日本の全てだと思っていた釜山育ちの私に、また新しい日本を感じさせてくれた貴重な旅行でした。

というのも、神戸は、私にとっては人生初めての「関西訪問」だったからです。おみくじで凶を引いてしまい、衝撃でミッコが泣き崩れた清水寺、葛きりを食べた祇園、そして私たちが泊まったりんちゃんの暖かいおばあさんの宅のある京都。発表当日、マケコンの一日マネージャーを務めてくださった荻野さんや、飛行機に乗ってまで来て



清水寺にて（左から水田，川崎，朴）

くださった先生に対して、悔やしさを打ち明けながら、鴨鍋を食べた神戸三宮。そして最後の日に、まさに旅行気分です。500%楽しんだ大阪。人情、赴き、そしてグルメの溢れる町で、掛け替えのない仲間と一生忘れられない経験を、小野ゼミに入って本当に良かったと実感できた旅行でした。マケコンのメンバー、荻野さん、そして先生、ありがとうございました。本当に楽しかったです！

◆発表後記（第9期生（特別聴講生） 清水 鈴）

カナダではデザインを専攻している為、デザインやアート以外のプロジェクトやアクティビティに触れる機会がなかった私にとって、今回のマーケティングコンテストへの参加により、留学に来た意味・意義が更に増えたと思います。言葉の壁や留学システムが置かれた状況により、通常、留学生が日本人の学生と共に学び合える環境がなかなか無い中、私は徹夜を含む数々のミーティングを重ね、本当に濃い時間をコンテストに参加した仲間達と共有し、カナダでは触れることができない考え方や物の見方を学ぶ事ができました。また、自分たちが準備した発表内容に対するゼミの他の仲間からの指摘や批判、そして数々の応援と優しい言葉を受け、私は小野ゼミ生として誇らしく発表に挑むことができたことを、今でも鮮明に覚えています。

今回このコンテストに参加出来たことを誇りに思うと同時に、カナダの大学には存在しない「ゼミ」というシステムの良さを更に理解すると同時に、周りの環境、先生や多くのゼミの仲間に対する感謝の気持ちで一杯です。



楽しかったです、本当に良い経験ができました！（左から朴、水田、清水、川崎）